

# 特別支援学校では、生徒たちの「働きたい！」を かなえるために様々な職業教育に取り組んでいます。

大分県内には17校の特別支援学校があり、障がいのある子どもたちが、卒業後の自立と社会参加をめざして学習しています。

## 作業学習

作業活動を学習の中心にしながら、生徒の働く意欲を培い、将来の職業自立や社会自立に必要な事柄を総合的に学習するものです。取り扱われる作業活動の種類は、紙工、木工、縫製、窯業、農園芸などのほか、販売、清掃、接客などもあり多種多様です。



縫製



農園芸



木工

## 職場実習

学校で学習したことを生かして“力試し”をする取り組みです。実際的な知識や技術・技能に触れることが可能となるとともに、生徒が自分の職業適性や将来設計について考える機会にもなり、主体的な職業選択の能力や職業意識の育成が図られます。



木材加工場



食品加工場



高齢者施設

## 技能検定

就労への意識を高めることを目的とした取り組みです。検定の開発に協力いただいた専門家が評価表に基づいて審査を行い、級位を認定しています。技能の習得だけでなく、目標に向かっての努力を認められることで、自信や達成感を得ることにつながっています。



メンテナンス部門 テーブル拭き



メンテナンス部門 自在ぼうき



メンテナンス部門 モップ